

あなたの声を議会に...

No.136

(年4回発行予定)

令和5年8月16日発行

 **たるみず**

市議会だより



炬火リレー (R5.7.28)

目次

【令和5年第2回定例会】.....	2
常任委員会審査結果.....	3～
一般質問.....	5～
議案等の審議結果.....	12
予算特別委員会.....	13
令和5年第3回定例会日程案	
編集後記.....	16

発行／垂水市議会
 編集／垂水市議会だより編集委員会
 鹿児島県垂水市上町114番地
 TEL 0994-32-1111 (内線358)
 メールアドレス
t_gikai@po.city.tarumizu.kagoshima.jp



垂水市議会
ホームページの入り口

令和5年
第2回定例会

一般会計補正予算 (第2号) (案) 可決

一般会計予算総額 118億 8,663万円

第2回定例会は、5月26日から6月30日まで36日間の会期で開かれ、14件の議案や陳情等が審議されました。

定例会では、価格高騰支援給付金事業や鹿児島女子短期大学の連携支援業務等に係る一般会計補正予算(第2号) 5億2,530万円の増額は、全会一致で可決されました。

また、垂水市副市長の選任については、全会一致で同意されたほか、一般家庭からの「ごみ」についての出し方等に関する勉強会の設置を求める陳情についても全会一致で採択されました。

※審議結果は12ページに掲載

一般質問では13名の議員が登壇し、執行部と論戦を交わしました。

※各議員の一般質問は5ページから掲載



～令和5年度一般会計補正予算(第2号)の主な事業～

価格高騰支援給付金事業

9,000万円

物価高騰の影響を受けた住民税非課税世帯等に対し、3万円の現金給付を行うもの

鹿児島女子短期大学の連携支援業務

348万円

特産品を利用したメニューの開発を行う活動や本市キャラクターを活用したグッズ開発経費

一般会計補正予算(第2号) 5億2,530万円

垂水市自主文化事業

500万円

文化会館30周年を記念して、市民ニーズに合う文化事業を実施するもの

商品券事業補助金

7,854万円

全世帯を対象としてプレミアム付商品券を販売するもの

産
業
厚
生
委
員
会

6月9日に産業厚生委員会が開催され、5月26日の本会議において付託された陳情について審査されました。審査の際の主な内容と意見について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

一般家庭からの「ごみ」についての出し方等に関する勉強会の設置を求める陳情

意見

○27種類のごみの分別が疎かになってきているとの声を各方面から聞くため勉強会を開くべきでは

陳情内容

1. 行政と振興連・振興会等で、一般家庭からの「ごみ」についての出し方等に関する意見交換を行うための勉強会の設置を求める。

○振興会未加入者も勉強会の対象にすべきでは

【審査結果】
全会一致で「採択」

2. 右記勉強会の協議内容等を考慮した、行政と各振興会のゴミステーション等に関する契約または、取決め等を早期に行えるように努めること。



現地視察

【牛根麓漁港改修工事】



牛根麓漁港

県営事業における水産流通基盤整備事業として、牛根麓漁港の改修工事現場を視察。事業内容としては、護岸、浮桟橋、南防波堤の新設を行っている。
総事業費は5億円で、令和8年度内に完成予定。

【桜島口牛根麓線法面防災工事】



桜島口牛根麓線法面

令和2年度に梅雨前線豪雨により被災したが、落石と防護柵の損傷のみであったため、災害復旧事業として申請するまでには至らず、別事業である社会資本整備総合交付金事業の防災工事現場を視察。各損傷箇所に応じた落石予防工を行っている。

【新城諏訪地区復旧治山事業】

平成29年7月の梅雨前線豪雨により山腹崩壊が発生したもので、復旧治山事業計画において行われている、新城諏訪地区の山腹工事現場を視察。
令和2年度から7年度までの施工予定で、保全対象は人家24戸、国道400m、市道200m。



新城諏訪地区

総務文教委員会

6月12日に総務文教委員会が開催され、5月26日の本会議において付託された議案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。また、当日は各事業の状況を確認するため現地視察を実施しました。

垂水市第2号会計年度任用職員との給与に関する条例の一部を改正する条例 案

付託内容

令和5年7月1日から会計年度任用職員における新たな専門職として文化財専門員を追加しようとするもの。

主な質疑

問 募集する文化財専門員にはどのような採用基準、業務内容を予定しているのか。

答 採用基準については、考古学、歴史学または文化大学に関連する専門課程を修了しており、学芸員の資格を有するものが対象。業務内容は、垂水島津家墓所復旧作業、浜平地区の垂水海軍航空隊地下壕に関連する業務に従事する予定。

垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案

付託内容

契約保証金の不明金問題に鑑み、事案の解決に至っていないことで市民の皆様へ御心配をおかけしていることなど市長自ら一定の責任を取りたい趣旨のもと、改めて給与の20%減額を提案するもの。

主な質疑

問 他の市町村でも不正問題や不明金問題はあると思うが、責任の取り方について他市町村の例を教えてください。

答 今回の保証金の不明金問題のように4年間解決に至っていない案件は見当たらず、市長判断によって提案したものである。

現地視察

【大野地区の過疎地域等集落ネットワーク圏形成支援事業】



大野地区直売所

大野地区にて地元でとれた農産物を中心に販売している直売所を視察。大野地区活性化のための交流活動や地域ブランドの販路拡大が実施されている。

【垂水小学校体育館外壁改修等工事】



垂水小学校体育館

築40年以上が経過し、外壁及び床等の破損が発生している垂水小学校体育館を視察。

約2年かけて、長寿命化改良工事を実施するもので、児童や教職員及び保護者をはじめ利用者にとって、安心・安全な施設であり、教育環境の充実が図られることが目的。

【柘原地区公民館耐震改修工事】

築50年以上が経過し、国の示す耐震基準を満たさないことから耐震工事を実施する柘原地区公民館を視察。耐震補強を図ることで、施設の安全性や維持管理業務の効率性の向上などが目的。令和5年度内の工事完了を予定。



柘原地区公民館

令和5年 第2回定例会

一般質問

13 議員が登場！

市政を問う



第2回定例会において、13名の議員が一般質問を行いました。

※掲載内容については、質問と答弁の要旨を質問者の文責により掲載しています。詳細な内容については、市役所3階情報公開室や図書館等にありますが“会議録”をご覧ください。会議録は市役所ホームページからもご覧いただけます。

13番	12番	11番	10番	9番	8番	令和5年6月6日	7番	6番	5番	4番	3番	2番	1番	令和5年6月5日
川畑 三郎	北方 貞明	持留 良一	篠原 静則	池山 節夫	新原 勇		感王寺 耕造	池田 みすず	梅木 勇	高橋 理枝子	宮迫 隆憲	前田 隆	川越 信男	
議員	議員	議員	議員	議員	議員		議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	
P11	P11	P10	P10	P9	P9		P8	P8	P7	P7	P6	P6	P5	

【質問者】 ※質問順



川越 信男 議員

女性消防職員の職場環境について

問 女性消防職員が不自由を感じることなく仕事に取り組めるよう、女性専用の浴室、仮眠室などの環境の整備が必要と考えるが女性消防職員の専用施設の整備状況をどう考えているのか伺う。

答 浴室、仮眠室につきましては、将来、垂水市特定事業主行動計画による女性活躍推進に関する目標値に掲げる女性職員数に基づく整備を、耐震補強工事と同時期に改修する方向でできないか、現在、関係課と協議を行っているところである。

「燃ゆる感動がごしま国体」炬火リレーについて

問 実施日が7月28日午前中であり、暑さが予想される。国道沿いのイベントであることから安全対策も必要であることが想定される。この2点について、どのような対策を計画されているのか伺う。

答 この炬火リレーは、国道沿いをコースとして設定している。このため、垂水幹部派出所と協議の上、歩道走行で実施することと決定した。沿道を走る車などの通行の妨げ防止

を考慮し、ポイントとなるところに交通誘導警備員を配置することとしている。

GIGAスクール構想の現状と今後の方向性について

問 市報たるみずにもGIGAスクール通信として毎回紹介されているが、本市におけるGIGAスクール構想の2年間の成果や課題、及び今後の方向性について伺う。

答 この2年間の取組を通して、児童生徒が積極的にタブレット活用できるようになってきているという強みを活かしながら、児童生徒が主役となる主体的、対話的で深い学びの推進に向けた授業づくりへの転換を図っていくために、2つの方向性を考えている。1つ目は、学んだことを発信していく活動の充実である。2つ目は、交流活動の充実。学びを深めていくためには、児童生徒同士話し合い、意見を交流しながら、協働的な学びを仕組んでいくことが大切である。GIGAスクール構想では、直接交流に加えまして、タブレットを使って間接的な交流もできるようになる。



【その他の質問】

○民間活力の導入について



前田 隆 議員

市債発行について

問 通常債は基本とする6億円に収まっているか。平準化の基準となる期間と起算年度を定めたか。耐震化工事の起債も予想されるが令和元年から5年間の起債額はいくらか、平準化が守られているか。

答 今回の補正予算までの通常債限度額は7億7050万円となっている。起算と期間は定めていない。起債の発行実績は令和元年から令和3年までは18億9440万円、令和4年以降は予算上の限度額である。耐震化工事の財源はどのような財源措置が有利であるか検討し、市債発行額の抑制に努めたい。

橋梁長寿命化修繕計画について

問 対象橋梁の現状、更新費用と本年度の実施予定について伺う。

答 対象橋梁は101橋で橋齢が40年以上50年未満は25橋、50年以上は32橋、半数以上が40年以上の古い橋である。橋の健全性を示す判定区分で機能に支障を生じない健全な状態の1判定は63橋、機能に支障は生じ

ていないが予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい11判定は35橋、早期に措置を講ずるべき状態の11判定が3橋である。更新費用は40年間で26億7千万円必要とされている。これまで30橋の改修工事を行ってきたが本年度は判定区分Ⅲの3橋を実施し、来年度以降は11判定の予防保全の改修工事に努めて行く。

猿ヶ城溪谷森の駅エリアの観光振興について

問 年中賑わう有効な施策や考えはないか市長に伺う。

答 飲食店等への誘致活動、高隅山系への登山コースの整備、猿ヶ城溪谷散策コースの整備については今後、猿ヶ城エリアの有効活用を視野に入れながら、どのような整備を進めていけるのか様々な方々の意見をお聞きしながら検討してまいりたい。

また、ワーケーションを含め、キャニオニング等のアクティビティを活用したPR誘致活動について、トップセールスを行い、多くの方々にお越しいただける地域にして行きたいと考えている。

【その他の質問】

○財政調整基金、市有施設整備基の目的と活用状況について



宮迫 隆憲 議員

特定技能制度を活用した農林水産業者への派遣はどうか

問 特定技能制度では、農業分野と漁業分野のみで派遣形態が認められているが、この制度を利用し、特定技能人材を受け入れることは大きな戦力につながると思う。現在市に居住する外国人技能実習生の現状と問題点について伺う。

答 農業において、労働力として外国人材の受入れは国際貢献という技能実習制度の趣旨とは異なるが、労働力不足で悩む農業の人材救済策として機能してきた側面もある。人材を供給してくれる仕組みがあれば労働力を無駄なく確保し、コスト削減にもつながるのに、という農家の意見もある。現在、技能実習生を廃止し、新制度へ移行するため政府の有識者で協議がなされているので、今後の改正内容等を注視していく必要がある。

問 特定地域づくり事業の推進に関する法律が令和2年6月4日に施行されているが、この制度を活用することで、年間を通じた仕事を創出し、安定的な雇用環境や一定の給与水準

を確保、必要な時期に必要な人手を確保することで人手不足の解消、半農半Xなどの多様なライフスタイルの実現に貢献、地域内外からの若者等呼び込み、地域の担い手を確保、地域事業者の事業の維持拡大を推進といった効果が見込まれる日本人の方々に派遣する事業があるが、そのことについて伺う。

答 農業だけではなく、他の業種を組み合わせて取組を行っていく必要があることから、まずは農業者の意向を確認しながら他市町の取組や先進事例を研究して、市としてどのような取組ができるのか考えていく必要がある。

学童保育について市として現状の改善をするべきでは

問 今年度は1年生から3年生の85名が利用され、4年生から6年生は不承諾となった生徒が多く、満足されていない保護者の方もいることから、今後の方向性について伺う。

答 学童保育は小学生の保護者が安心して働くために重要な取組であることから、今後も対応策に関する関係機関との定期的な協議を継続していく必要があると考える。

【その他の質問】

○鉄道記念公園のトイレについて
○消防第一分団庁舎建設について



高橋 理枝子 議員

子ども用紙オムツと大人用紙オムツの回収について

問 子ども用紙オムツの回収ボックスが子育て支援センターに設置されているが、新城柘原方面、牛根海潟方面にも設置できないか伺う。大人用紙オムツは一方所も回収ボックスが無いが、今後設置する予定はないか見解を伺う。

答 子ども用紙オムツ回収実績は増えてきている。牛根支所、新城支所辺りに設置することは十分考えられることであり、指示を出している。大人用紙オムツ回収ボックス設置は場所の確保等の回収方法の制度化や財源確保などの課題がある。

小・中学校の給食費無償化について

問 給食費無償化の2学期実施に向けて今後の手順について伺う。

答 今後の手続きは、学校給食センター運営審議会を開催し、意見を伺い、補正予算可決後、実施に必要な要綱の整備などを行い、各小中学校及び保護者へ本年9月から給食費が無償化になることを周知していきたいと考えている。

垂水市庁舎のあり方検討委員会の意見書について

問 令和5年2月22日に垂水市庁舎等のあり方検討委員会より出された意見書には「庁舎等の耐震化が決定されたことで、庁舎等のあり方をより深く検討する時間的な余裕ができたことから、引き続き新しい検討委員会を設置し、慎重丁寧に検討を進めるよう要望する」旨の記載がある。令和2年8月9日住民投票で8574名が投票した。新庁舎を建てることに対して否定している意見は少数だと認識している。今後のことは市民を交えて議論する必要があると考えるが、新しい検討委員会発足の予定があるか伺う。

答 現在準備を進めているところであるが、予算確保後になる。新たな委員会での議論内容は、DX等を検討しながら今後の耐震後の庁舎の必要な設備とあわせて、新庁舎も含めて検討していかねばならないと考えている。

【その他の質問】

- 看護小規模多機能居宅介護事業導入について
- 垂水市役所の男性職員の育児休業と特別休暇について
- 避難所での配慮について
- 振興会加入について
- 垂水市の観光について



梅木 勇 議員

市営墓地の環境整備について

問 市営墓地は中ノ平、市木、海潟の3ヶ所にあるが、中ノ平墓地は駐車場の防護柵が腐食し、危険の立札がある。元垂水の市木墓地は隣接する北側民有地の樹木が大きく生長し、墓を覆いかぶさるように伸びており、強風や台風等で枝が折れ、墓への損傷を不安視する声が聞かれている。また、3ヶ所の墓地に共通していることは、お知らせ看板が全て倒れたままの状態になっていること、墓地内に自然に生えたとと思われる樹木があるが、これらの対応を伺う。

答 市営墓地の維持管理は除草を年3回実施している。中ノ平墓地の駐車場のフェンスは修繕をするための補正予算案を本議会に計上しており、お知らせ看板は利用できないものにつ



元垂水の市木墓地

いては、早急に撤去するとともに新たな看板設置の対応を検討したい。墓地内の樹木は小さいうちに早めの剪定や伐採に努めたい。市木墓地の越境している支障木の伐採については、土地の所有者において伐採するものであるが、民法改正により、境界を越えた竹木を切れるようになったところである。まずは隣地の土地所有者の確認を行い、所有者と連絡を取りながら支障木の伐採について検討していきたい。

林業振興事業の有害鳥獣対応について

問 鳥獣害の農業への被害は年々増えていく状況にあり、農業の継続について考える農家もあるようで、特に山間部では深刻な問題となっており、林業振興事業の予算に備品購入費が計上されているが、備品購入について伺う。

答 備品購入は、地域ぐるみで有害鳥獣侵入防止に取り組む地域に対して県の鳥獣被害対策実践事業を活用し、ワイヤーメッシュ柵、電気柵等の購入と捕獲において必要な箱わなを48基購入し、猟友会員に1人1基貸し出したいと考えている。

【その他の質問】

- 都市公園の整備進捗について



池田みずす 議員

高齢者支援について

問 訪問給食サービス事業の現状及び課題について

答 訪問給食サービス事業の内容については、昼と夜の1日2食分の給食を週7日間配食している。水曜日はワタミ株式会社、後の6日間は有限会社木場商店により配食している。契約期間は、令和5年8月末を満了としており、以降の契約については、現行の週7日間の給食の提供を維持しながら、利用者へのサービス低下防止、負担軽減を行いつつ、令和5年9月以降の契約締結に向け、現行の受託事業者を含む数社の訪問給食業者と協議を進めている。

問 高齢者等SOSネットワーク事業の現状と課題について

答 本事業を利用する場合、徘徊または徘徊のおそれがある高齢者等の方の氏名、生年月日、連絡先、外見の特徴等の情報や写真を事前に登録して、地域包括支援センター、消防本部及び警察署で情報共有し、家族等から事前登録者の徘徊発生の連絡があった際に早期発見につながることを目的としている。本事業の事前

登録者数は、令和5年5月末現在で31名と少数であるため、広報誌等へ掲載する等住民の皆様へ周知する。

子育て支援について

問 子育て世代が働きやすい環境整備事業の内容と効果について

答 内容は、子育て世代にWebマーケティング分野のテレワーカーとして自立できるように育成講座等を実施。同時に子どもを預けられない人や預けない人でも育児と両立して働けるよう、市の公共施設等を活用しキッズスペース付きオフィスも検討している。効果はデジタル人材の育成、多様なライフスタイル、働き方、価値観が広がり、子育て世代の意識の変化や地域コミュニティが形成され、ワークライフバランスが推進されると考える。人口減少は本市の大きな課題で、特に若い女性の減少は大きな課題である。本事業を通して子育て世代に選ばれる地域づくりとして効果があると考ええる。

【その他の質問】

- 燃ゆる感動がごしま国体について
- 高齢者運転免許自主返納者支援事業について
- 子育て支援センターの運営について
- 「ちやいたる」の活動について
- ペアレントプログラム・トレーニング事業について



感王寺 耕造 議員

新城郵便局包括受託について

問 3月議会において趣旨採択となったが、その後の関係課との協議内容や今後の方向性について伺う。

また、請願には633名の署名があり、新城地区の総意と考えるべきである。地域連携が取りやすい郵便局を有効活用する動きが、全国的に検討を始めていることを踏まえての考え方について伺う。

答 現在のところ、関係課との協議は行っていない。今後の方向性については、地域住民の合意形成が必要であるとともに、今後の本庁舎の在り方も支所の方向性を決定することに少なからず影響があると考える。支所機能については、単に各証明発行業務に限らず避難所開設時の役割、地域のシンボルでもあることから、費用対効果に限定せず住民サービスの観点からも慎重な検討が必要と考える。地域として郵便局が重要な存在であることはその通りだと思つので、どのような方法があるか協議を重ねていきたい。

児童クラブについて

児童クラブについて

問 垂水児童クラブへ希望者は全員受入れできたのか。希望したが、入れなかったとの声を聴いており、対応できないのか。

答 令和5年度入所者は、小学1年から3年生の利用申請者は全員受入れたが、4年生以上については対応数超過により受入れができなかったため、空きがある水之上・協和児童クラブへの利用を案内し、4名が利用されている。垂水児童クラブを利用できなかったのは、児童一人あたりの面積を国が定めている余裕教室や支援員の確保も難しい状況となったためである。できるだけ早く、何らかの対応策を考え、前向きに対応していきたいと考える。

有害鳥獣対策について

問 被害を減らすために、現在導入している機材以外の導入や中山間地区の集落を巻き込んだ対策協議会の設置が必要では。

答 モデル地区を設定し、効果検証を行い、市内全域へ普及させていく取組を実施する。垂水市有害鳥獣捕獲対策協議会と中山間地域との情報共有や連携した対応が必要であると考えており、まずは本市中山間地域集落協定との意見交換の場を設け、取組を進める。

【その他の質問】

- 清掃センターについて



新原 勇 議員

病児保育について

問 共働きの夫婦・又はひとり親世帯など、突然子供が病気になる、頼る人のいない方は仕事を休み、有給休暇等を使い子供に寄り添っている。そんな時頼られるのが病児保育である。国の目的として、子供が病気の際に自宅での保育が困難な場合に、病院・保育所等において病気の児童を一時的に保育する事で安心して子育てが出来る環境を市町村が実施する努力義務とされているが本市の取り組みはどの様になっているのか。又は課題や近隣市町の動向は。

答 病児保育は、仕事と家庭の両立に向けた支援であり、子育てしやすい環境の整備となり、これまで事業を実施していただける市内医療機関を検討し、協議したが現時点で事業実施に至っていない。令和5年度は第三期子ども支援事業計画策定のため、アンケート調査を実施し、子育て世代のニーズを把握する。課題については病院・診療所・保育所等において専用スペースの設置、職員配置の要件における人員確保が課題。鹿屋市については、まつだこどもクリニックの病院が支援し、利用数は

令和2年度461名・3年度623名・4年度629名。アンケートにて、病児保育のニーズも把握する予定である。

認知症の徘徊への方の対策は

問 徘徊した場合に備え、身に着ける識別グッズ（IDバンドやタグ、QRコードシールなど）は迷子になった場合でもすぐ連絡が取れる、また認知症サポーターならすぐ見分けが付き、声掛けや連絡がしやすい環境作りについてどう思うか。またGPS付き見守り等の機器の助成の考えはないか。

答 徘徊する恐れのある高齢者等の位置情報を確認できるGPS装置のレンタルや本人情報を取得できるQRコードシールなどにつきましては、徘徊が発生した場合、本人情報をいち早く確認できることで、高齢者等の早期発見や安全確保につながる事前準備となる。GPS装置についてはレンタル手続きや料金の課題があり、他自治体から情報収集し、本市の徘徊高齢者等SOSネットワーク事業に事前登録している、ご家族から機器やシールの活用についての意見をお聞きしたいと考える。

【その他の質問】

- カバンの重さについて
- ランドセル症候群について
- 土木・農林事業について



池山 節夫 議員

市政について

問 子育て支援策について。市内での小児科の現状についてと、病児・病後の施設について。学童保育の現状についてと施設の増設について伺う。

答 市内における小児科につきましては、東内科小児科クリニックと、よしとみクリニックにおいて診療が行われている。夜間においては垂水市内に対応できる医療機関がないことから、大隅3市5町で運営する大隅広域夜間急病センターで受診となる。病児・病後の施設については、これまで事業を実施していただける市内医療機関を検討、協議したが、現時点で事業実施に至っていない状況である。垂水小学校における学童保育施設の増設については、余裕教室や支援員等の応募状況について、垂水小学校、垂水児童クラブ、福祉課で協議したところ、学級単位の再編成等で余裕教室等の活用については現時点で見通しが立たないこと、また、支援員等につきましては人員確保が難しい状況にあるとのことだった。今後も対応策に関する関係

機関との定期的な協議を継続していく必要があると考えている。

ドッグラン施設を整備して交流人口の増加と観光振興を！

問 アフターコロナとなり、交流人口の増加を目指す垂水市として、他の自治体に先駆けてドッグラン施設を整備して観光振興につなげるべきと考えるが見解を伺う。

答 近年はペットと飼い主が共に旅行を行うペットツーリズムの需要も高まりつつあり、ドッグラン施設を整備することで市場の拡大も期待されると思われる。現在本市において設置計画はないが、ドッグランの整備や設置等については、本市に合った施設が設置可能なのか、また、観光振興にどうつなげられるのかなど調査研究していきたい。

学校教育について

問 市内小中学校の児童・生徒の学力について、全国平均あるいは県平均と比べて垂水市はどうなのか伺う。

答 昨年4月に実施された全国学力学習状況調査においては、小学校では3教科のうち2教科が全国平均を上回っていた。中学校では3教科とも全国平均にはわずかに届かなかったが、正答数の差は全国、県と比較して1問から2問であった。



篠原 静則 議員

公共工事契約保証金の不明金は

問 不明金が発覚し4年経つが、警察の調査ではなく、垂水市として調査を行っているのか。

答 垂水市としては、警察と連携し対応しているが、事案が判明してから4年が経過した現在も原因究明に至っていない状況を変容し大きく受け止めている。今後、原因究明・再発防止・結果責任を果たしていきたい。

市道上野中央線の整備を！

問 市道上野中央線は、上野土地改良区の財産（農道）であったが、市道への編入について垂水市から打診があり、港から瀬戸山線までの4430mが市道となった。現状として相当傷んでいるが改良等の考えは。

答 令和5年4月に市道上野中央線を通行した際に、舗装の状態について確認している。現在、土木課において、一級・二級市道とその他市道の中から、通行量が多い路線や生活経済活動などに支障を及ぼす舗装状態の路線を優先して整備しており、市道上野中央線については、上野台地の幹線的な道路であることから、早期に舗装計画ができるよう関係機関と協議し、検討したい。まずは、

舗装の状態を調査し、優先して整備する必要がある箇所の特定や修繕対応とする箇所、経過観察とする箇所などの計画を作成したいと考えている。

農林行政 待ったなし

問 果樹試験場跡地は、民間会社が購入し、ツバキの植栽等を行うと伺っているが、未だに始まらず草木が生い茂り苦情が出ている。農地を適正に管理すべきであると考えますが、今後の事業計画はどうなっているのか。また有害鳥獣対策に農家は苦慮しているが、被害額と捕獲状況、猟友会への支援は怎么样了なっているのか。

答 果樹試験場跡地を購入した民間会社に伺ったところ、近日中に整地作業に取りかかるとの回答であった。今後も定期的に進捗状況を確認していく。

また、有害鳥獣の捕獲数は5年前と比較し増加している。被害額も若干増加しているが、ここ数年横ばいである。猟友会員による捕獲活動や有害鳥獣防止策設置への支援などが一定の効果を発揮している。猟友会への支援については、6月議会に狩猟免許の更新費用や貸し出し用の箱などの購入に対する予算を計上している。

【その他の質問】

○馬毛島の自衛隊基地に伴う騒音問題について



持留 良一 議員

財政の健全性の確保運営の 指針・目標に

問 財政シミュレーションを示して将来の財政運営リスクを把握し、現時点で打てる手を打つため実施することが必要ではないか。

答 財政シミュレーションについては、将来にわたって持続可能な財政基盤の確立を図る上からも、必要と認識はしているが自然災害やコロナ感染など社会情勢の変化や設定条件次第では、結果が大きく変動し推計として精度が落ちることになる。今後の各種影響を注視しながら、慎重な財政運営に引き続き心がけていきたいと考えている。

切れ目のない子育て支援とは

問 子育て支援で求められている課題と切れ目のない支援は何を指しているのか。

答 現在の課題は、子育て世帯に対する経済的支援の充実に関連し、子ども医療費無償化・窓口負担ゼロがある。令和3年4月より、住民税非課税世帯の18歳までの子どもについては、窓口負担ゼロとなる現物給付方式が導入された。住民税課税世帯

の18歳までの子どもについても導入することができないか検討中である。

今後の課題は、幼児期の教育・保育に係る経済的負担の軽減に関連し、住民税課税世帯に属する0歳から2歳児までの保育料の負担軽減策がある。子育て世帯の経済的な負担軽減の継続的取組として、保育料の見直しの必要性を協議していきたい。



免税業者排除しない

公共入札で閣議決定に

問 自治体が地元商店や工務店などに発注している取引では、事業者側がインボイス登録していない取引が除外されるような問題は発生していないか。

答 入札参加資格申請受付の際や各種取引事業者に対しても、インボイス登録申請をお願いする行為も含めて、免税業者を排除することはしていない。

【その他の質問】

- 福祉施策（高齢者対策）
- 物価高騰対策（求められている対策）
- 自治体DX（マイナンバーカード）
- 個人情報情報は守られるのか
- 学校図書館整備と対策の必要性



北方 貞明 議員

文化会館開館30周年事業費
前年度からの倍増予算について

問 自主文化事業は、前年度250万円から倍増の521万6千円が計上されているが、事業内容と計画は。

答 本年度は垂水市文化会館開館30周年の節目の年であり、アフターコロナに向けて、幅広い世代が文化芸術に親しみやすい自主文化事業を実施したいと考えて、昨年の約倍の事業費を計上した。内容として、佐世保音楽隊による瀬戸口藤吉翁のふるさとコンサートを皮切りに、様々な文化事業を実施することとしている。市民ニーズの高い落語、講演会、演劇の中から11月から2月の間で2回実施予定であり、現在、プロダクションと調整を行っている。

垂水海軍航空隊地下壕調査について

問 新規事業費の文化財保護事業費、垂水海軍航空隊地下壕について伺う。

答 垂水海軍航空隊は太平洋戦争中の特殊地下壕の可能性が高いことから、概要の把握、今後の利活用を含めた3Dによる立体的な記録保存に向けて、垂水海軍航空隊地下壕計測

及び浜平椋原地区戦跡調査として832万円予算計上した。調査結果を基に今後の利活用に向けて関係団体と協議していきたい。

市長給与の減額について

問 公金の不明金285万について、市長は一定の責任を取りたいとして令和5年7月1日から令和6年8月31日まで市長の給与の月額20%減額の議案を提出された、その理由は。また事件発生当時の関係者に対しての捜査報告は。加えて、時効が成立した時の責任はどうとするのか。

答 公金不明金の事案が解決に至っていないので、市長自ら一定の責任を取りたい。警察に捜索を依頼しているが、現在まで解決に至っていない。私としては当然のこととして、まずは見合う金額の責任を取る。また事件が解明された時は内容によって責任の取り方が違ふと考える。捜査は継続していると報告を受けており、時効は不明金が発生してから7年経過しての令和6年12月が一回目の時効となる。

ゴミ問題について

問 ゴミステーションは一部集落だけ、なぜ有料なのか。不公平ではないか。

答 借地料については、土地所有者の方と振興会との信頼関係で決まっていると思われるため、今後の検討課題だと思う。



川畑 三郎 議員

災害対策をしっかりと

問 先月30日、九州南部が梅雨入りし、台風2号も発生、奄美地方を東に去ったが、いよいよ災害発生の時期となった。災害対策について伺う。

答 昨年より11日早い梅雨入りとなった。毎年実施している防災点検と総合防災訓練を実施、落石と防護柵損傷の市道桜島口、牛根麓線のり面工事など計3ヶ所を巡回、土木・農林では、市道・農道の整備。水路・側溝の土砂除去等も行い、環境整備班や重機借り上げによる事前対策を行った。総合防災訓練は市職員を対象として市民館を会場に2日間にわたって実施した。

水産振興

問 水産振興について伺う。

答 種子島周辺漁業対策として垂水市漁協に水産物加工処理施設製氷機の整備、牛根漁協においては牛根麓辺田沖の養殖生けす係留施設の整備計画。漁港整備事業は、県事業の高潮対策で海潟漁港、牛根麓漁港の岸

壁整備並びに浮桟橋の設置、境漁港の高潮対策が計画されており、いずれも長期間の事業となる。垂水市単独事業は、牛根麓漁港の整備に伴い、給油施設の整備とカキ養殖の稚貝購入助成、カンパチ、ブリ人工種苗購入助成を行う。

グラウンドゴルフ場

問 牛根地区のグラウンドゴルフ場整備について伺う。

答 現在、地域の方々がグラウンドゴルフの練習場として利用されている。まずは牛根中学校跡地の安全対策の一つとして、今年度は鉄棒等の運動用具、バックネット等の老朽化がみられる危険なものの撤去を計画している。今後も引き続き住民の皆様の見解を伺いながら、関係課による検討を行ってまいりたい。



【その他の質問】

- 部活動地域移行について
- 図書館の多目的トイレについて

令和5年第2回定例会に提案された件名と結果一覧

番号	件名	内容	審議結果
報告	令和4年度垂水市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	地方自治法第213条に基づき、令和5年度へ繰り越した令和4年度の繰越明許費を報告するもの	—
報告 第7号	専決処分の承認を求めることについて（垂水市印鑑条例の一部を改正する条例）	法改正により、コンビニエンスストア等に設置している多機能端末機とスマートフォンにて利用する電子証明書の文言を整理するもの	承認
報告 第8号	損害賠償の額を定めることについての専決処分の報告について	公用車の接触事故による相手車両への破損に対し、修繕費を賠償し和解するもの	—
議案 第34号	垂水市税条例の一部を改正する条例 案	税制に関する法令等の一部改正に伴い、条文を整理するもの	原案可決
議案 第35号	垂水市第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	会計年度任用職員における新たな専門職として文化財専門員を追加するもの	原案可決
議案 第36号	垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	契約保証金の不明金問題に鑑み、市長自ら一定の責任を取りたいという趣旨のもとで継続して給与の減額を行う改正	原案可決
議案 第37号	人権擁護委員候補者推薦につき意見を求めることについて	川筋貴子氏の人権擁護委員推薦に当たり、議会の意見を求めるもの（再任）	適任
議案 第38号	大野原辺地に係る総合整備計画の策定について	市道垂桜・駒ヶ丘線の改良舗装整備に関連して、4年計画（令和5年度から令和8年度）を策定しようとするもの	原案可決
議案 第39号	令和5年度垂水市一般会計補正予算（第2号）案	価格高騰支援給付金事業や鹿児島女子短期大学の連携支援業務等に係る補正	原案可決
議案 第40号	垂水市職員特殊勤務手当支給条例の一部を改正する条例 案	新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類感染症に移行したことに伴い、防疫手当の特例を廃止しようとするもの	原案可決
議案 第41号	垂水市副市長の選任について	海老原 廣達氏を副市長に選任するもの	同意
議案 第42号	令和4年度垂水市水道事業会計剰余金の処分及び決算について	令和4年度垂水市水道事業会計の剰余金の処分や決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
議案 第43号	令和4年度垂水市病院事業会計決算の認定について	令和4年度垂水市病院事業会計の決算を審査するもの→閉会中の公営企業決算特別委員会で審査することに決定	継続審査
陳情 第1号	一般家庭からの『ごみ』についての出し方等に関する勉強会の設置を求める陳情	一般家庭からの『ごみ』についての出し方等に関する意見交換を行うための勉強会の設置を求めるもの	採択

賛否が分かれた議案について（○：賛成、×：反対）

氏名 議案番号・議案件名	高橋 理枝子	宮迫 隆憲	前田 隆	新原 勇	池田 みずず	梅木 勇	堀内 貴志	川越 信男	篠原 静則	感王 寺耕造	持留 良一	北方 貞明	池山 節夫	川畑 三郎	○ 賛成	× 反対	審議結果
	議案第34号垂水市税条例の一部を改正する条例 案	○	○	○	○	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	○	×	×	○	○	○	11	2
議案第36号垂水市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 案	×	○	○	×	○	○	※議長のため表決には参加しない	○	×	×	×	×	○	○	7	6	原案可決

予算特別委員会

6月16・21日に予算特別委員会が開催され、5月26日の本会議において付託された一般会計補正予算案について審査されました。審査の際の主な質問と回答について紹介します。

令和5年度垂水市一般会計 補正予算（第2号）案

6月16日

【議案に対する質疑】

自転車用ヘルメット 購入費補助金について

問 自転車用ヘルメット購入費補助金の対象を高校生以下の子供と65歳以上の高齢者に設定した理由を教えてください。

答 事故防止の観点から保護者が子供たちにヘルメットを被せなければならぬという義務に対する補助と併せて、高齢者に対する費用面の補助から対象年齢を設定している。

予算面を考慮して全世代への対象については今後、検討していきたい。



鹿児島女子短期大学の 連携支援業について

連携支援業について

問 鹿児島女子短期大学の連携支援業務の具体的な内容について教えてください。

答 鹿児島女子短期大学で学んでいる学生を中心に、短期大学の生活科学学科食物栄養学専攻や教養学科のアカデミック要素を活用し、本市の特産品について、生産者の皆様の声を聞き、収穫を体験するなどの交流を通じ、特産品を利用したメニューの開発を行う。

また、本市の観光資源など地域資源を市民の皆様と一緒に、SNS等を活用して発信する活動や本市のキャラクターを活用したグッズ開発といった活動に対しての支援をお願いし、併せて、テレビ等のメディアを活用した広報展開を予定している。

イフシシ捕獲のための 箱わな購入について

問 現在、どのくらいの在庫があつて、今回の予算計上はいくつ購入するつもりなのか。

答 現在、15基在庫があつて今回新たに48基購入したいと考えている。猟友会員が48名いらつしやるので、原則1人1基の貸し出しを予定している。

中学校部活動における 地域移行について

地域移行について

問 コーチに対する謝金については一律同じ金額でしょうか。

答 1回1600円で一律同じ金額である。垂水中央中学校の剣道部、卓球部、サッカー部のコーチ3人に対して週5回の年間209日で予算計上している。

問 人材確保の工夫について教えてください。

答 競技団体を絞って現在、協議会を発足しており、子供たちの健全な育成につながるよう進めている。



6月21日
【市長への総括質疑】

非課税世帯等への価格高騰 支援給付金事業について

問 事業の中身について教えてください。

答 令和5年度住民税非課税世帯、転入外国人、入所措置中の障害者や高齢者及びDV避難者だけではなく、申請により家計急変世帯と認められた課税世帯へ各種公的給付金の支給履歴をもとに世帯当たり3万円を支給予定。

問 各世帯のニーズや所得・収入等により給付額に差をつけることを検討しなかったのか

答 趣旨や財源、様々な観点から検討し、今回の提案となった。



全国市議会議長会 市議会議員表彰

第99回全国市議会議長会定期総会が開催され、本市議会から1名の方が特別表彰また、1名が感謝状を授与されました。ここにご報告し、お喜びを申し上げます。



【15年表彰】

感王寺 耕造 議員

- 初当選 平成19年4月22日【5期目】
- 副議長・産業厚生委員長・桜島火山活動対策特別委員長等を歴任

地方財政委員会委員としての職責に対する感謝状

川越 信男 議員

- 初当選 平成23年4月24日【4期目】
- 第30代 垂水市議会議長
産業厚生委員長・国道整備促進特別委員長等を歴任



～ 議員の主な活動 ～ 【令和5年6月～令和5年7月】

○6月2日(金) 桜島火山活動対策協議会総会 (鹿児島市)

○6月8日(木) 九州市議会議長会定期総会 (長崎県)

○6月14日(水) 全国市議会議長会定期総会 (東京都)

○6月27日(火) 大隅河川国道事務所要望 (肝付町)

○6月29日(木) 市町村振興協会定時評議員会 (鹿児島市)



6/29 市町村振興協会定時評議員会



7/26 国道整備促進における国への要望

○7月5日(水)～6日(木)

小規模市ネットワーク議長会 (西之表市)

○7月10日(月) 桜島火山活動対策県要望 (鹿児島市)

○7月11日(火) 九州地方整備局国道要望 (福岡県)

○7月26日(水) 国道整備促進における国への要望 (東京都)

市議会だより編集委員会

委員	副委員長	委員長
高橋理枝子	前田隆	新原勇
篠原静則	宮迫隆憲	池田みすず



【特集 第19回】
垂水市の史跡めぐり

俣江観音

垂水市220号線をフェリーターミナル交差点から、南へ約800m、山手側に100m入った場所にある俣江観音について紹介します。

この観音は総高45センチ日輪の光を背おい、左手に蓮の花のようなものをもち、タブの木彫りで高さ18センチほどの蓮台の上に立った観音で、優れた作である。

この像の裏面に天正17年己丑10月吉日（1587）造立と印されており、桃山時代に造られたことがわかる。

この観音は昔、庄屋水迫平五郎の漁網にかかったもので信仰厚い庄屋はここに一字を建てて祀ったといわれる。



みるからに、穏やかさと、優しさを感じることが出来る女神像であることから、安産の仏様として厚い信仰があつたと伝えられ、地元の人は勿論、遠方からもお詣りする方がある。平成8年には御堂が建立され、地域の人々によって大切に保護されています。

観音の首には幾枚もの新旧の、よだれかけが重ねられいつも新しい香華が絶えない。この機会に安産祈願に足を運んでみてはいかがでしょう。



編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

6月議会も終了し、「議会だより」をみなさまにお届けいたします。

議会での各議員の活動や発言、委員会の審査内容等を読者の皆様にご理解いただければ幸いです。

議決議案はいずれも市民生活に直

市議会へ行こう

令和5年 第3回定例会会期日程（案）

月	火	水	木	金
8/28	29	30	31	9/1 本会議
4	5	6	7	8
11	12 一般質問	13 一般質問	14 産業厚生委員会	15 総務文教委員会
18 敬老の日	19	20	21	22
25	26	27	28	29 本会議

- ※本会議は、市役所3階の議会傍聴席にて傍聴できます。（本議会の様子はライブ・録画配信をしていますので、インターネット中継をご覧ください。）
- ※委員会の傍聴は、事前に委員長の許可が必要です。
- ※請願等の受付締切日は、議会運営委員会前日の8月24日です。
- ※9月1日、9月29日の本会議は午前10時から、一般質問及び各委員会は午前9時30分からの開会予定です。
- ※日程は変更になる場合がありますので、議会事務局までお問い合わせください。

結する極めて大事なものです。

今後も、市民の皆様に見やすく、

分かりやすく、親しまれる広報づくりを心がけていきますので、よろしくお願いいたします。

何か、お気づきの点がございましたら、議会事務局へお知らせください。

